

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|----------|--------------|
| 園名 | 大丸ゆうし保育園 |
| 活動日時 | 2025年2月5日(水) |
| クラス名(年齢) | いちご組(1歳児) |
| 年間テーマ | 光 |

1. 活動のテーマ

<テーマ>

ひかり① ~ひかりに気付こう~

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

保育室で西日があたると、窓から差し込む光が床にあたっていた。その光に気づき、床を触ったり叩いたりするが、光がとれずに不思議そうにしていた子ども達を見て、光の存在に気付いて遊びに広げていきたいと感じた。

2. 活動スケジュール

午睡明け、光が差し込みやすい場所に子ども達を誘い、光の存在に気づいてもらう。保育士が影を作ったり、光をさえぎったりして、不思議さに気づいてもらう。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定


午睡明け、光が差し込みやすい場所に遊びを用意する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- 午睡明け、光が差しこみやすい場所に遊びを設定し、光に気づきやすいようにする。
- 光に気付く。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

| 子どもの言葉・姿 | 写真 |
|---|---|
| <p>光にきづき、たたく、さわる。</p> <p>保育士の方を見て不思議そうな表情をする。 「たいようさんの光があたっているんだよ」 保育士が、光をさえぎると光がきえたり、現れたりする。</p> <p>消えたり、現れたりする光を触ってキャーキャーと声をだしている。</p> <p>人の入れ替わりはあるが、10分以上集中して触ったり見入ったりしていた。</p> |  |

5. 振り返り <振り返りによって得た保育者の気づき>

今までも保育室に光が差し込んでいる事は日常的にあったが、季節が夏を超えて西日が差し込みやすくなった。窓に格子状の扉がはめてあり、そこに光が当たり、床にあたってしましま状になっていた。それに気づき不思議そうに触ったり叩いたりしていた。取ろうと頑張っていた子もいた。この不思議な存在を「たいようのひかり」だよと教える事で、お天気がいい時のたいよう、明るく照らしているたいようと繋がるといいなと思っていたが、まだ「？」の子が多かった。